

知ると得する

楽しみ増える

かごしま
あいも
こいも

学習のポイント



鹿児島県ってどんなところ？

□鹿児島県の位置

鹿児島県は、本土は九州の南端に位置し、さらに南に向かって多くの離島が連なっています。東経128度23分から131度12分の間、北緯27度1分から32度18分の間位置し、温帯～亜熱帯の気候帯に属しています。

約160万人の人が暮らし、面積は9,188kmあります。市町村の数は43市町村（19市20町4村）です。※2021年3月末現在

□海に育まれた県域

鹿児島県の北の端・長島町から南の端・与論町までの距離は約600km。また、それらの海岸線をすべて足すと2,643kmもあります。港の数も114港で、これは全国第1位の多さです。

□たくさんの離島がある鹿児島県

鹿児島県内にあり人が住んでいる離島(有人離島)は28島あります。面積の広い島としては、奄美大島や屋久島、種子島などがあります。こうした離島の総面積は2,476km²で日本一です。またこれは鹿児島県の面積の27%にあたります。

□アジアに近い鹿児島県

鹿児島から東京までの距離はおよそ960kmありますが、中国の上海までは約860km、韓国のソウルまでは約750kmで、東京よりもアジアの国々のほうが近いことがわかります。伝承されている文化の中にもアジアの国々と類似点があるものが多く、古くから交流があったことがうかがえます。

知ると得する

楽しみ増える

かごしま
あいも
こいも

学習のポイント

鹿児島県の自然

□地理的特徴

鹿児島県の自然の地理的特徴を考えてみましょう

□世界自然遺産と国立公園

世界自然遺産に認定されたり、国立公園に指定されている鹿児島の自然の特徴とは何か、住んでいる地域と比較などをして考えてみましょう

□火山のめぐみとジオパーク

鹿児島県にはなぜ火山が多いのか考えてみましょう



鹿児島県の自然 世界遺産・国立公園

調べてみよう！
考えてみよう！

① 世界遺産について調べてみよう
② 屋久島や、奄美大島、徳之島が世界自然遺産に登録された理由を調べてみよう

日本で最初に世界自然遺産に登録された島 屋久島

屋久島は大隅半島の南約 60 kmの海上に浮かぶ、周囲約130kmの島です。九州で一番高い山・宮之浦岳 (1936m) をはじめ、1,000m を越える山が島の中央部に連なり、亜熱帯性から亜寒帯性までの幅広い植生が見られ、洋上アルプスとも呼ばれています。平成5(1993)年に、日本初の世界自然遺産に登録されています。



多様な生物が生息する世界自然遺産 奄美大島・徳之島

奄美群島は北の奄美大島から南の与論島までの島々からなります。このうち奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島などの美しい海岸や亜熱帯広葉樹林、隆起サンゴ礁地形が奄美群島国立公園に指定され、海中公園地区も同時に指定されています。その中の奄美大島と徳之島は、希少種を含む多様な生物が生息・生育していることが評価され、沖縄島北部、西表島とともに、令和3(2021)年に世界自然遺産に登録されました。



霧島錦江湾国立公園

霧島一帯は、昭和9(1934)年、日本で初めての国立公園「霧島国立公園」に指定されました。昭和39年、錦江湾地区、屋久島地区が追加指定され「霧島屋久国立公園」に、平成24年3月には鹿児島湾(錦江湾)奥の海域や沿岸地域を新たに加えて「霧島錦江湾国立公園」となり、世界自然遺産の屋久島は「屋久島国立公園」として分けられました。



鹿児島県の最北部に位置する長島町・獅子島は、白亜紀の地層が確認でき「化石の島」と呼ばれ、獅子島・諸浦島は雲仙天草国立公園に加えられています。





火山のめぐみ

調べてみよう!
考えてみよう!

② 温泉が湧く仕組みについて調べてみよう
① 日本や世界にある火山について調べてみよう

温泉王国かごしま

鹿児島県には北は霧島から南は諏訪之瀬島まで11の活火山があり、その恵みを受けて温泉が多く湧出します。源泉数は 2749ヶ所(全国2位)、湧出量は161,668ℓ/分(全国3位)です。

また温泉地は89ヶ所あり、鹿児島県内ほとんどの場所で温泉が湧きます。

※環境省温泉データ令和元年度(令和2年3月)より

指宿市の海岸の一部は、地中の熱や熱水が伝わることで温くなった砂浜の砂をかぶる「砂むし」ができることで有名です。

霧島市の温泉は霧島の豊かな山々を背景として温泉の滝もあるほど湯量が豊富で、山合いから川沿い、海岸近くの平野部に至るまで各所に景観豊かな温泉地があります。

鹿児島市は県庁所在地としては全国1位の源泉数があり、銭湯のほとんどが温泉です。

また地下に熱源があることで鉱床がつくられ、鹿児島県は現在でも金が採掘されている全国唯一の県です。(24P 鹿児島県の日本一参照)





火山とジオパーク

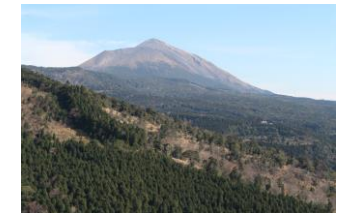
調べてみよう！
考えてみよう！

② 鹿児島県のジオパークと近くにあるジオパークの特徴について比べてみよう

① ジオパークについて調べてみよう

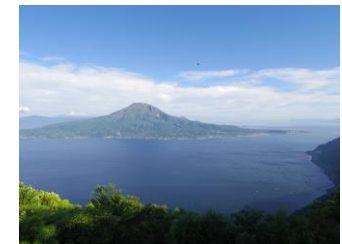
霧島ジオパーク

約20以上の火山からなる霧島山を中心とした鹿児島県と宮崎県両方にまたがる地域。現在でも新燃岳や硫黄山は活動していますが、そうした火山活動を起源とする美しい地形に触れることもできます。標高1,000mを越える山々では、1,300種の植物を観察することができ、火山活動の歴史と自然の多様性を楽しみながら学ぶことができます。



桜島・錦江湾ジオパーク

鹿児島湾(錦江湾)は南北約80km、東西約20kmの細長い湾で、中央部と湾奥部に水深200m以上の場所もあります。湾奥の丸く見える部分は、約2万9000年前に大噴火を起こした始良カルデラという大きな陥没地形で、今でも海底から火山性のガスが噴出し、若尊カルデラと呼ばれる活火山があります。桜島は今から約2万6000年前、「始良カルデラ」の端に生まれたと考えられています。大正3(1914)年1月12日の大爆発によって大量の溶岩が流れ出し、それまで島として隔たっていた大隅半島との間の海峡が埋められ、陸続きになりました。



三島村・鬼界カルデラジオパーク

三島村は、活火山である硫黄岳のある硫黄島を中心に、竹島と黒島という三つの島があります。竹島と硫黄島を含む、その南側の海域が約7300年前に大噴火した鬼界カルデラにあたり、その噴出物などを村の様々な場所で観察できます。



知ると得する

楽しみ増える

かごしま
あ い も
こ い も

学習のポイント

鹿児島県の歴史

□豊かな物語にあふれた南九州

鹿児島県各地に伝わる神話の世界や、考古学的発見について調べてみましょう

□南九州の覇者・島津氏

島津氏が鎌倉時代から明治維新まで続いた理由を考えてみましょう

□幕末明治維新时期に活躍した人々

幕末から明治維新にかけて活躍した鹿児島に関係する人物について調べてみましょう

□鹿児島県に残る戦争体験

太平洋戦争の際、鹿児島県にはたくさんの基地がおかれました。その理由を考えてみましょう



鹿児島県の歴史の魅力

調べてみよう！
考えてみよう！

① 身近な遺跡と時代や特徴を比べてみよう

古事記・日本書記の世界を感じられる鹿児島

日本における最古の史書である「古事記」と「日本書記」。それらに描かれている日向神話の舞台とされる場所が、鹿児島県にも点在しています。神話にある「天孫降臨」の場面で登場する笠沙の御崎は、現在の南さつま市周辺にゆかりが伝わります。初代天皇の神武天皇の祖であるニニギノミコトなどの御陵とされる「可愛山陵」「高屋山上陵」「吾平山上陵」のほか神話の登場する神々を祭る神社などがあり、壮大な神話の世界に触れることができます。



考古学上すごい遺跡がたくさん

霧島市にある上野原遺跡は、約9500年前の縄文時代の、日本最古で最大の定住集落跡が発見されました。指宿市の橋牟礼川遺跡は、開聞岳の火山灰の下から縄文土器が、上から弥生土器が出土したことから、縄文時代が弥生時代より古いことが証明された重要な遺跡です。



大隅半島の志布志湾岸地域には、畿内を中心とした前方後円墳を築くという文化が古墳時代に伝わっています。東串良町には鹿児島県内では最大級の前方後円墳である大塚古墳があり、全長は185mあります。また、現在確認されている前方後円墳として日本最南端のものが、肝付町の塚崎古墳群にあります。





南九州の覇者・島津氏

調べてみよう！
考えてみよう！

② ① 九州各地の大名の歴史も調べてみよう
なぜ島津氏が南九州に拠点を置き続けられたのか

南九州に拠点を置き続けた島津氏

島津家の初代当主・惟宗忠久は、鎌倉幕府を開いた源頼朝から薩摩・大隅・日向(今の鹿児島県と宮崎県にあたる地域)の守護職を与えられ、この地にあった「島津荘」という荘園にちなんで名前を島津と改めました。以後明治維新に至るまで、700年もの間、島津氏が代々この地と関係してきました。その間、南九州の様々な豪族たちとの争いや豊臣秀吉の大軍との戦いなどもありましたが、島津氏は有能な家臣団とともに、支配を続けてきたのです。



関ヶ原の戦いと島津義弘

慶長5(1600)年、日本の大名たちが西軍(豊臣方)と東軍(徳川方)に分かれて争う大きな戦い・関ヶ原の戦いがおこり、島津氏は負けた西軍に加勢していました。戦場にいた島津義弘は、少ない兵で敵の大將である徳川家康の陣を横切って退却する「敵中突破」を行い、南九州の地に戻ることに成功しました。その後、義弘の兄である島津義久らの交渉によって、島津氏の南九州一帯の支配は、徳川家康がひらいた江戸幕府の下でも続くこととなります。





武士がたくさん住んでいた南九州

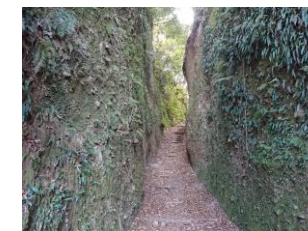
調べてみよう！
考えてみよう！

② 薩摩藩ではどうして武士が多かったのか考えてみよう

① 日本遺産や伝統的建造物群保存地区について調べてみよう

武士の割合が高かった薩摩藩

武士が地域の支配をめぐり争う時代を通じて、南九州各地にもたくさんの「山城」が築られました。その多くは南九州独特の地形の特色である「シラス」の崖を利用したものです。江戸時代に入り「一国一城令」が出されたあと、城の機能は失われましたが、薩摩藩ではたくさんの武士をその山城の麓などに居住させていました。南九州ではこのような武士の居住地を「麓（ふもと）」といいます。



100ヶ所以上の場所に武士が分かれて住んでいた！

麓は江戸時代には113あったとされ、藩主が住む鹿児島城(鶴丸城)を内城というのに対して、外城ともいい、たくさんの武士が薩摩藩内の各地に分散して住んでいました。日本全体では武士は人口の約5%でしたが、薩摩藩では約25%が武士でした。

この麓のうち9つが、2019年5月、「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」として日本遺産に認定されています。全国的には知覧の武家屋敷群が有名ですが、広さが圧巻の出水の武家屋敷群など4つの麓が伝統的建造物群保存地区に指定されています。





幕末明治維新时期に活躍した人々

調べてみよう！
考えてみよう！

- ② 明治維新で活躍した人が何故鹿児島に多かったか
考えてみよう
- ① それぞれの人物の一生や成し遂げたことについて
詳しく調べてみよう

独特の教育制度・郷中(ごじゅう)教育

薩摩藩士の子弟の教育は、「郷中(ごうちゅう)」とよばれる一定の区域ごとに行われました。年齢により6、7歳～10歳の小稚児、11～14、5歳の長稚児、14、5歳～24、5歳くらいまでの二才に分かれ、特定の先生はおらず、先輩が後輩を指導するなかで、お互いがお互いの手本となることが求められました。郷中ごとに定められた日課に従って、書を読んだり、武士の心得を説いた「日新公いろは歌」を暗唱したり、「山坂達者」という言葉に象徴されるように体も鍛えたりしました。



西郷隆盛

鹿児島城下の下級武士が住む下加治屋町に生まれた西郷隆盛は、藩主・島津斉彬に認められ、側近くに仕えました。斉彬の死後は遠島を含む島での生活を2回も経験し、藩の政治と関係を断たれる時期もありましたが、戊辰戦争では官軍を指揮し活躍、江戸城の無血開城を実現しました。明治維新後、最初の陸軍大将となりましたが、明治6年の政変で下野。明治10(1877)年、明治政府に対しておこした西南戦争に敗れ、城山で自刃しました。





幕末明治維新时期に活躍した人々

調べてみよう！
考えてみよう！

① 身近な地域の同時代の人物や出来事について調べてみよう

大久保利通

西郷隆盛と同じ下加治屋町の出身で下級武士として育ちました。斉彬の死後藩主となった忠義の父・久光に認められ、藩の政治に関わるようになりました。明治維新後は初代内務卿になり、新しい国家の基礎づくりに励みましたが、明治11(1878)年に東京で暗殺されました。



篤姫(天璋院)

島津一門家・今和泉島津家の娘として生まれますが、島津斉彬の養女となり、のちに将軍家に嫁ぎました。夫で13代将軍・徳川家定の死後天璋院と名乗り、戊辰戦争で幕府と敵対した薩摩藩が攻めてくる中であって徳川家存続のために力を尽くしました。江戸城を明け渡した後も生まれ故郷・鹿児島には帰らず、徳川家の子息の教育に専念しました。



小松帯刀

喜入(現鹿児島市)領主・肝付家に生まれ、のちに吉利(現日置市)領主・小松家の養子となりました。文久2(1862)年からは家老として藩政をリードし、王政復古、そして明治維新に尽力しましたが、明治3(1870)年に病気のため、36才の若さで亡くなりました。





幕末明治維新时期に活躍した人々

調べてみよう！
考えてみよう！

② ① 「明治日本の産業革命遺産」について調べてみよう
薩摩藩英国留学生にどのような人がいたのか調べてみよう

日本の近代化の先駆け・集成館事業

島津家第28代当主島津斉彬は、薩摩藩だけでなく、日本全体のことを考えて政治を行いました。西洋の事情にも詳しく、日本初の日本人による写真撮影の被写体になっています。島津斉彬が、日本を強く豊かな国にしようと考えて建設した近代的な工場群を集成館といいます。薩摩藩は当時日本で最も進んだ技術を持ち、明治維新に向けて大きな影響力を持つことになりました。

こうした集成館事業を伝える文化財は「明治日本の産業革命遺産」として、2015年7月に世界文化遺産に登録されました。

薩摩藩英国留学生

文久3(1863)年、薩摩藩は前年の生麦事件をきっかけに鹿児島城下の目の前の海・鹿児島湾でイギリス艦隊7隻と戦闘になりました。これを薩英戦争といいます。薩摩藩は集成館事業を通じ軍備の西洋化を行い、生麦事件発生後も戦闘の準備をしていましたが、砲撃戦の末鹿児島城下は焼け、台場なども破壊されました。薩摩藩は西欧諸国の実力を実感し、慶応元(1865)年には使節団を含む19名をイギリスへ派遣しました。留学生たちの中からはその後明治政府で活躍をした者が多く輩出されるなど、日本の近代化に大きく影響しました。





鹿児島県に残る戦争遺産

調べてみよう！
考えてみよう！

② ①
身近な戦争遺産や同時代の出来事について調べてみよう
なぜ鹿児島に多くの基地がおかれたのか考えてみよう

太平洋戦争末期、鹿児島には陸海軍合わせて20の基地があり、沖縄作戦や本土決戦に備えられていました。また多くの基地から特攻隊などが飛び立ち、多くの尊い命が奪われました。

知覧基地(陸軍)

太平洋戦争中に大刀洗陸軍飛行学校知覧教育隊として設立。戦争末期の沖縄戦において本土最南端の特攻基地となり、多くの特攻隊員が出撃し戦死しました。基地跡周辺には当時使用された給水塔、防火水槽、飛行機を格納していた掩体壕、隊員が出撃までの日々を過ごした三角兵舎跡などが残されています。



出水基地(海軍)

出水基地は、昭和12年(1937年)に飛行場の建設が始まり、昭和18年(1943年)4月に出水海軍航空隊が開隊、教育機関として操縦訓練などが行われていました。昭和20(1945)年2月に出水海軍航空隊は解隊。4月以降、出水基地は特攻基地として銀河隊等が沖縄の米機動部隊に対して攻撃を行い、約200名の特攻隊員が出撃しました。周辺には出水基地に関する遺構も多く残っています。





鹿児島県に残る戦争遺産

鹿屋基地(海軍)

鹿屋海軍航空隊は昭和11年に発足し、現在は海上自衛隊鹿屋航空基地として利用されています。ここからは908名の特攻隊員が出撃し、戦死しました。戦時中、笠野原や串良にも航空基地があり、串良基地からも363名の特攻隊員が出撃し戦死しています。鹿屋市内には飛行機を空襲から守るための掩体壕や受信施設としての地下壕などが当時のまま残り、他にも昭和20年の11月に計画されていた本土上陸作戦に備えた施設などもあります。



桜島(海軍)

昭和20年1月、アメリカ軍の日本本土上陸作戦、オリンピック作戦に備え、南九州各地では、基地が設けられ備えが進んでいました。桜島の袴腰には、海軍特攻戦隊の一つ「第五特攻戦隊」の司令部がおかれ、魚雷保管室や動力室があったとされます。この近くには 通信施設もあり、佐世保鎮守府や南九州一帯に配備された各突撃隊との連絡を行っていました。



万世基地(陸軍)

戦況の悪化に伴い、知覧飛行場の補助飛行場として終戦直前の昭和20年(1945年)3月から7月までの約4ヶ月間だけ使用され、この間に201名の特攻隊員が出撃し、命を落としました。周辺には基地入口の営門跡や貯水タンクなどが保存されています。



知ると得する

楽しみ増える

かごしま
あいも
こいも

学習のポイント

鹿児島県の産業

□鹿児島県の農業と畜産業

鹿児島県の農業と畜産業の特徴について調べてみましょう

□鹿児島県の水産業と林業

鹿児島県の水産業と林業の特徴について調べてみましょう

□鹿児島県の伝統工芸品

鹿児島県の伝統工芸品について調べてみましょう

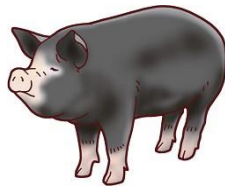


鹿児島県の農業と畜産業

鹿児島の農業

鹿児島県は全国屈指の農業県です。本土でも南端に位置する温暖な気候を活用した園芸や畜産が盛んです。また「かごしまブランド商品」として、様々な農畜産物を世界や全国に出荷しています。

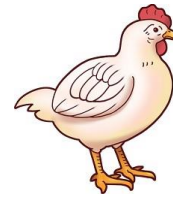
鹿児島県の農業産出額は全国第2位（平成30年）です。※平成30年度作物統計より



豚飼養頭数
126万9000頭
(全国第1位)



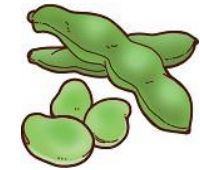
肉用牛（黒毛和種）
飼養頭数 33万8000頭
(全国第2位)



ブロイラー飼養羽数
2797万羽
(全国第2位)



サツマイモ収穫量
27万8000トン
(全国第1位)



そらまめ収穫量
3150トン
(全国第1位)



オクラ収穫量
5408トン
(全国第1位)



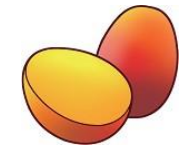
さとうきび収穫量
45万2900トン
(全国第2位)



かぼちゃ収穫量
8510トン
(全国第2位)



茶（荒茶）
2万8000トン
(全国第2位)



マンゴー収穫量
402トン
(全国第3位)





鹿児島県の水産業と林業

鹿児島の漁業

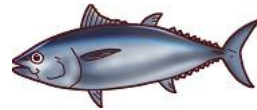
離島面積は全国一、海岸線の総延長は全国第3位という、海の恵みをたっぷり受けている鹿児島県。そんな鹿児島が「日本一」という水産物は以下の通りです。



カンパチ養殖生産量
2万6547トン
(全国第1位)



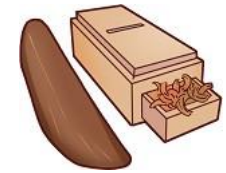
ブリ養殖生産量
2万4453トン
(全国第1位)



クロマグロ養殖生産量
2835トン
(全国第1位)



ウナギ養殖生産量
8199トン
(全国第1位)



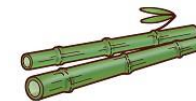
カツオ節生産量
2万5012トン
(全国第1位)

鹿児島の林業

鹿児島県の森林面積は585,575haです。素材の生産高は全国第9位、まきの生産高は全国第1位です。鹿児島県の竹林面積は16,000haで全国の竹林面積の24%を占め、全国一の竹林面積を有しています。またモウソウチクの生産量も全国第1位で、年間120万本と全国の38%を占めています。鹿児島県の工業技術センターでは、モウソウチクを展開して平板製造する技術を確認するなど、利用への取組もすすんでいます。全国一の竹林面積から生産されるタケノコも生産量全国第1位です。



まき生産量
2万5012トン
(全国第1位)



竹材生産量
44万9000束
(全国第1位)



タケノコ生産量
1万791トン
(全国第1位)



鹿児島県の食べ物に関するエピソード

サツマイモ伝来物語

宝永2(1705)年、指宿市山川の前田利右衛門によって琉球からサツマイモがもたらされました。鹿児島では唐(=中国)のイモということで「カライモ」と呼びます。



カライモは水はけのよい鹿児島の土壌になじみ、米に代わって人々を飢えから救う食物となりました。その後カライモは幕府の蘭学者・青木昆陽によって将軍に献上、全国に奨励され「サツマイモ」と呼ばれるようになりました。

江戸時代も豚を食べていた鹿児島

江戸時代の日本では、獣の肉はあまり食べられていませんでしたが、鹿児島では琉球文化の影響で、塩漬けにした豚肉(塩豚)を食べる習慣があったとされています。

西郷隆盛が奄美大島に滞在していた時、鹿児島にいる大久保利通らに豚肉を送ったという記録もあります。



お茶・紅茶

鹿児島県の荒茶の生産量は静岡県に次ぐ第2位で、全国生産量の34.5%を占めます。令和元年度の生産額は全国1位です。また、戦前から紅茶の生産にも取り組んだ地域もあり、

地域のブランドとして定着しています。鹿児島県内の産地を訪れると、美しい茶畑が広がり、お茶の生産地であることが風景からもわかります。



温州みかん発祥の地

かつて日本で一番よく食べられていた果物である温州みかんは長島町が発祥の地です。



タンカン・キンカン・大将季・紅甘夏

辺塚だいたい・桜島小みかんなど様々な種類の柑橘類が栽培されています。

鹿児島県郷土料理と郷土の甘味



とんこつ

豚ばら肉をこんにゃくや大根、ニンジンと共に煮込んだ豪快な伝統料理。黒砂糖、味噌、焼酎を加え、弱火で2～3時間骨から肉が離れる程度までことこと煮込む。



薩摩汁

鶏肉の入った汁。さつまいもや大根、にんじん、ごぼう、ねぎを入れ味噌で仕立てる。



ヘチマ味噌炒め

鹿児島ではヘチマもよく食べられる。皮をむき豚肉などと共に炒め、味噌で味付けをする。



ガネ

サツマイモや根菜類を千切りにして揚げたもの。「ガネ」とは鹿児島弁で蟹のことで、形が蟹に似ていることから呼ばれる。



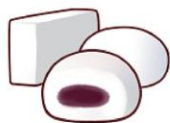
茶節 (ちゃぶし)

削った鰹節に味噌を入れ、熱湯または熱い緑茶をかけたもの。好みでネギ、ショウガを加えることもある。



つきあげ (さつまあげ)

甘く味付けした魚のすり身を油で揚げたもの。贈答用などとしても地元の人気は高い。



かるかん

江戸初期の島津家の記録にも登場。米粉と砂糖とヤマモを使用し、ふんわりとした触感のお菓子。



げたんは

黒砂糖をふんだんにつかったさっくりしたお菓子。かたちが、げたの歯に似ていることから命名された。



ふくれがし

砂糖をつかったお菓子。もとは家庭でつくられることが多かった素朴なお菓子。



あくまき (ちまき)

竹の皮で包んだもち米を灰汁につけ、さらに灰汁で茹でる。古くからの保存食で、きな粉や砂糖などをまぶして食べる。



しろくま

喫茶店などで夏場限定であることが多い練乳のかき氷。フルーツがふんだんに使われているのが特徴。



ちゃんぼ餅

一口サイズの餅に甘い醤油や味噌のタレをからめたもの。「ちゃんぼ」とは両棒(リャンボウ)ともいわれ、二本の短い串が刺してあるのが特徴。



鹿児島県の伝統工芸品

薩摩焼酎

江戸時代の中頃にさつまいもが伝来するまでは、米で焼酎を製造していました。江戸時代後半からさつまいもが原料に使用され始め、特に近年は様々な工夫が重ねられ、鹿児島の味として全国的に有名になりました。中でも鹿児島県産のサツマイモと水を使い、県内で製造された焼酎だけを「薩摩焼酎」として、ブランドづくりに取り組んでいます。



大島紬

奈良時代の記録にも登場するほどその歴史は古く、昔から高級品とされてきました。テーチ木の樹液と泥田の泥で染めた独特の褐色の紬は、30以上の工程を経て作られるものです。



川辺仏壇

南九州市川辺町内で製造生産される川辺仏壇は、木地・空殿・彫刻・金具・蒔絵・塗り・仕上げの7業種が分業しているのが特徴で、手作業で行われます。材料はスギ、ヒバ、ホオ、などが使われます。昭和50年に国の伝統的工芸品に指定されています。



薩摩焼

豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に島津義弘が連れ帰った朝鮮人の陶工が伝えたのが始まりです。窯は主に豎野系・苗代川系・龍門司系に分かれ、工芸的な白ものと日用品に多い黒ものとに区別されていました。



知ると得する

楽しみ増える

かごしま
あいも
こいも

学習のポイント

鹿児島県の自慢

□鹿児島県の日本一

□鹿児島県のはじめて

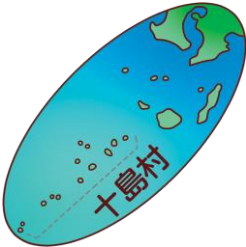
□鹿児島県を学べる物語・ドラマ・映画



鹿児島県の日本一

日本一長い村

十島村は、有人島7島と無人島5島あわせて12の島からなる村です。北の口之島から南の宝島まで130kmにも及ぶ日本一長い村です。



金の産出

昭和60(1985)年に出鉱が始まった菱刈鉱山(伊佐市)では、2021年現在金の総産出量が日本一。その量は165トンにもおよび、有名な佐渡金山の83トンと比べてもその多さがわかります。また鹿児島県には、このほかにも3つの金鉱山稼働しており、日本でも金がとれるのは鹿児島県だけになっています。



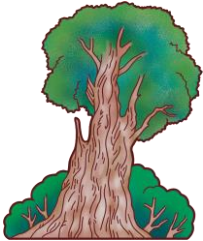
竹林面積

鹿児島県は、竹林面積が日本一。なかでもさつま町宮之城地区は竹林面積633ha、孟宗竹林面積524haのまさに竹のまち。また、孟宗竹が日本で初めて植えられたのは、鹿児島市の仙巖園内(江南竹林)といわれています。



縄文杉

樹齢7000年以上ともいわれる日本一長寿の杉です。樹高25.3m、幹回り16.4mあります。



大クス

始良市蒲生町の八幡神社の境内にある大クスは、根回りが33mで、日本一の巨樹です。樹高30m、幹回りは24mで、樹齢は1500年ほどと推定されています。



桜島大根

直径が20~30cm、重さが10~20kgにもなる桜島大根は、その名の通り桜島で栽培されます。平成15年に生産された31.1kgの大根が「世界で最も重たい大根」としてギネスブックにも登録されています。





鹿児島県がはじめて

鉄砲伝来

天文12(1543)年、種子島の門倉岬に中国船が漂着、この船に乗っていたポルトガル人が持っていた鉄砲を島主・種子島時堯が譲り受けました。



キリスト教の伝来

天文18(1549)年、フランシスコ・ザビエルはキリスト教布教のため日本に初めて上陸、これが日本とキリスト教の最初の出会いです。上陸地は鹿児島市の稲荷川河口付近です。



日の丸発祥の地

幕末の藩主・島津齊彬が洋式船を幕府に献上する際、外国の船と見分けがつくように日本の船の印にしてはどうかと提案したのが「日の丸」であり、現在の国旗です。鹿児島は日の丸発祥の地なのです。



新婚旅行第1号

慶応2(1866)年、寺田屋で襲撃を受けた坂本龍馬は、薩摩藩にかくまわれることになり、妻のお龍とともに鹿児島の霧島の温泉地で傷を癒しながら過ごしました。これが日本で最初の新婚旅行といわれています。



ロケット発射場

鹿児島は日本で唯一ロケットの発射場があります。種子島の宇宙センターと肝付町の内之浦宇宙空間観測所です。種子島からは技術試験衛星や地球観測衛星などの実用衛星が、内之浦からは研究目的の天文観測衛星や惑星探査機が打ち上げられています。2003年の打ち上げ後、小惑星イトカワを探査し2010年、7年ぶりに地球に帰還して話題となった「はやぶさ」は、内之浦から打ち上げられたものです。また、2014年12月に種子島から打ち上げられた「はやぶさ2」は、小惑星リュウグウから2020年12月に帰還しました。





鹿児島県を学べる物語・ドラマ・映画

歴史が学べる

- 【文学】海音寺潮五郎「天と地と」「二本の銀杏」「西郷隆盛」
- 【文学】司馬遼太郎「翔ぶが如く」「故郷忘じがたく候」
- 【ドラマ】「篤姫」(2008年NHK大河ドラマ) 鹿児島市、指宿市、出水市
- 【ドラマ】「龍馬伝」(2010年NHK大河ドラマ) 霧島市、始良町
- 【ドラマ】「西郷どん」(2018年NHK大河ドラマ) 鹿児島市、始良市

平和が学べる

- 【映画】「ホテル」垂水市、南九州市知覧町
- 【文学】島尾敏雄「出孤島記」「出発は遂に訪れず」「死の棘」
- 【文学】梅崎春生「桜島」

文化や自然が感じられる

- 【文学】林芙美子「放浪記」「浮雲」
- 【文学】向田邦子「父の詫び状」
- 【文学】椋鳩十「片耳の大シカ」「大造じいさんとガン」
- 【映画】「十五才学校Ⅳ」屋久島町
- 【映画】「釣りバカ日誌9」薩摩川内市(甕島)
- 【映画】「海猿」鹿児島市
- 【映画】「メガネ」与論町
- 【映画】「男はつらいよ寅次郎紅の花」瀬戸内町
- 【映画】「007は二度死ぬ」南さつま市坊津

※市町名は主なロケ地

